

# 『H26年度 学園祭～バトン部～』

★ 9月20日(土)、本校のグラウンドステージにて、バトン部も演技披露をしました。タイトルは『Marble-s』。バトンと1・2フラッグとを使った演舞です。“美しいマーブル模様のように、楽しさと喜びの調和”をテーマにして、ステージ上だけではなく舞台下も使い、大きくフォーメーションチェンジを取り入れてメンバーやフラッグが交差する様子も楽しんでもらえるよう工夫をしました。



3年生にとっては最後の学園祭です...

心地よい気候の下でのステージ出演。10分で3曲！盛りだくさんなセットリストです！！やはりメンバー全員で力を合わせて踊ると迫力も違いますし、凄く楽しいです☆



学園祭でも“優秀賞”を受賞しました！

大阪府大会の賞状と学園祭の賞状  
それから...

本校も出場する【芸術文化祭典】のポスターです！

# 『H26年度 NHKホールでの発表』

★ 10月4日（土）、NHK 大阪ホールで行われた“芸術文化祭典のバトントワリング部門”に、本校バトン部も出場をしました。

タイトルは『Marble is like this world』。作品のイメージは『地球と調和』。

学園祭で発表した楽曲のLong版と新曲1曲を披露しました。

照明やフラッグもマーブル風に2つの色が重なり合うように配色を工夫しました。



★ 大会や舞台発表に出場・参加する以上、評価や順位は必ずついてきます。その結果は審査する人や環境や状況でいろいろと変わってくるので、演技の善し悪しは一概に結果だけでは比べることは出来ません。しかし、それは結果を無視していいというわけではなく、結果によって感じた気持ちを大切にしていける必要があると思います。

・悔しいなと感じた人…その気持ちは宝物です。悔しい気持ちは本気で頑張った人にしか感じる事が出来ません。その悔しさをバネにして、次に活かしていきましょう。

・充実感や喜びの気持ちが大きかった人…今までの努力が実ったということです。今後の発表でも同じように成功させられるように、益々良いものを創りあげていけるように、さらに努力を続けていきましょう。

※みんなで練習してきた中で得た沢山の経験を、今後の部活動、そして人生の中でどんどん活かしていってくださーいね！！



## 作品のイメージは“地球と調和”

# 『H26年度 芸文祭&送別会』

★平成27年1月11日（日）、大阪芸術大学で行われた“第35回 大阪府高等学校芸術文化祭 マーチングバンド・バトントワリング部門”に、本校バトン部も出場をしました。3年生は引退したため、1年生のみでの参加です。タイトルは[Ring~EGHS~]。バトンとフラッグの2つの手具を使って踊りを披露。1年生も2フラッグの新技に挑戦をし、最後まで踊りきりました。今回も良い経験になりました。



## ”芸術文化祭典”



★平成27年2月20日（金）、北館体育館にて行われた“3年生を送る集い”に、バトン部も出場をし 間もなく卒業式を迎える3年生に祝福の演舞を披露しました。3年生が卒業しても続いていく絆。迷った時も、辛かった時も、みんなと一緒に乗り越えてきました。感謝の気持ちをバトンに込めて、フラッグではエールを送りました。[ご卒業、おめでとうございます!]



## ”3年生を送る集い”



Eishin Gakuen   
Baton & Flag Twirling